

令和3年度事業報告

I 事業内容

令和3年4月 1日から
令和4年3月31日まで

公益目的事業

1 杉本美術館の展示

杉本美術館の運営を担当する名古屋鉄道と協議し、年間を通じて実施される常設展示、特別企画展示に対して美術作品や関連資料の賃貸と、これらの展示などに関する助言をおこなった。

(1) (令和2年9月17日)～4月20日

常設展示室I、企画展示室の両展示室を一体として

『城のある風景』展を開催

ア 常設展示室I

杉本健吉が生涯にわたって描いた名古屋城の作品のほか、
「犬山城雪景」(油彩)、「彦根城」(水彩)など、国内の城の風景を
展示

イ 企画展示室

「ビアンデン」(素描着彩)、「ローテンブルグ城塞」(水彩)など、
ヨーロッパの城壁で囲った城郭都市風景など、海外の城の風景を展示

ウ 廊下展示ケース

「犬山の桜」「興亜大博覧会(桜)」など、観光ポスターの図案として
城を描いた作品を展示

エ 常設展示室VI

- ① 軸装「聖徳太子絵伝」22点を展示
- ② 杉本健吉の晩年の画業を代表する「幡」からカラフルな作品を
展示
- ③ 「会津八一歌屏風・銀屏風」「学規屏風」「散華屏風」を展示
- ④ 旧御園座の緞帳の図案を展示

(2) 春・夏の展示 4月22日～9月13日

- ア 常設展示室 I
『芸～舞・奏～』展
「印度舞踊」(油彩)、「鏡獅子」(水彩)などの舞や踊りを描いた作品を
展示
- イ 企画展示室
『芸～舞・奏～』展と一体に、舞妓が描かれた作品を展示
- ウ 廊下展示ケース
『芸～舞・奏～』展と一体に、「布作面踊」(水彩)、
「暫」(ガラス絵)など舞や踊りに関する作品を展示
展示作品「すしやおさと」(油彩)に描かれた文楽人形「お里」を
展示
- エ 常設展示室VI
前期からの展示内容を継続

(3) 秋・冬の展示 9月16日～10月31日

- ア 常設展示室 I
『杉本美術館最終展 絵に生きた画家 杉本健吉』展
杉本健吉が生涯にわたって描いた多くの作品をテーマ別に分けて
「大仏殿・雪」(墨)、「美浜の庭」(油彩)、
「サンポール路地」(ダーマト)などを展示
- イ 企画展示室
『杉本美術館最終展 絵に生きた画家 杉本健吉』展と一体に、
「ひまわり(トム)」(水彩)、「獅子文壺牡丹」(油彩)などを展示
- ウ 廊下展示ケース
 - ① 志賀直哉の作品集「白樺のころ」さし絵を展示
 - ② 杉本健吉が東大寺の僧侶・上司海雲にあてた書状(協力：絵手紙
健吉会)を展示
 - ③ 佛曼荼羅十二品(水彩)を展示

エ 常設展示室VI

- ① 「新・平家絵物語屏風」前半・後半ともに展示
- ② 「六興出版 新・平家物語屏風」を展示
- ③ 「私本太平記屏風」を展示
- ④ 「會津八一歌屏風」を展示
- ⑤ 杉本健吉の晩年の画業を代表する「幡」から杉本画伯の言葉を記した作品などを展示
- ⑥ 御園座や中日劇場などの凶案を展示

(4) 他の常設展示

ア 常設展示室II

『追想・杉本健吉の部屋』：杉本画伯が長年使用したイーゼルなどの関連資料の他、美術作品などを展示

イ 常設展示室III

『「曼陀羅」展示室』：「両界曼陀羅」、空海像などを展示

ウ 常設展示室IV

『「おもちゃ箱」展示室』：
「天人奏楽」（水彩）や色とりどりの扇子
9月からは「落葉譜」（墨・水彩）、「會津八一学櫛屏風」を展示

(5) その他

ア 和室「杉庵」

- ・「聖徳太子御影」、「仁医麻鳥」、「造物主戯作」
- ・掛け軸「図法螺」、絵皿「愛」を展示
(愛知県立愛知工業高校同窓会から受贈)
- ・陶芸作品「狛犬」、茶筌による造花「椿」

イ 渡り廊下

展示ケースの台を5色で彩り、「蛙と河童」、「四神」、燭台「管弦打」などを展示

ウ 中庭

トーテムポール、東大寺屋根瓦を展示

エ 入口ホール

杉本健吉による「杉本美術館構想案立体模型」を展示

2 資料整備（収集・保管）

収蔵作品の整理、データ化などを進め、台帳と現物の棚卸を実施した。

3 普及活動

(1) 「美術館を楽しく飾ってみよう」

4月22日～9月13日、『芸～舞・奏～』展の関連行事として開催
五人囃子、楽器人形を模した絵の用紙に彩色などをしてお楽しみいただいた

(2) 「花」で美術館を飾ってみよう」

9月16日～10月31日、『杉本美術館最終展 絵に生きた画家 杉本健吉』展の関連行事として開催
大きな幹を描いた紙を用意し、花型の付箋に思い出や感想を記入して貼って、満開の花を咲かせていただいた

(3) 小中学生絵画コンテスト 「花」

*中日新聞社と共催 協力 チャーチル会名古屋

- ・対象 小中学生
- ・募集期間 7月26日（月）から9月6日（月）
- ・応募総数 105点 杉本美術館賞1点、入賞5点、入選14点
- ・掲載期間 10月18日（月）～10月31日（日）（HPに掲載）

(4) スケッチフリー

館内全体をスケッチフリーとし、絵画に囲まれながら展示作品の模写やスケッチを楽しんでいただいた

利用者 11名

(5) アトリエ公開

毎月第1土曜10時30分から実施

最終展期間は 第1・第3土曜の2回 実施

このほか、公開希望のあった個人、グループ、団体に随時公開をおこなった

- (6) 学芸員による展示解説
 毎月第1土曜11時から実施
 最終展期間中は多客のため中止
 このほか、解説希望のあった個人、グループ、団体に随時解説をおこなった
- (7) 七夕飾り
 玄関で杉本健吉の短冊で飾った七夕飾りを展示
 休憩室では竹を用意し、ご来館の方に七夕の短冊を書いていただいた
- (8) 地元小学校への出張授業
 9月21日、美浜町立河和南部小学校4・5・6年生(30名)、
 ワークショップ形式での美術館の紹介やクイズ形式での作品の紹介を実施
 また、美術作品を実際に搬入し、ミニ美術鑑賞会や、模写なども実施した
- (9) 演奏会の開催
 10月24日、マンドリンオーケストラ「プレットロ・ロマンティコ」が
 休憩室でミニ演奏会を開催
- (10) 集客活動
 ア 近隣旅館、ホテル、観光施設など・・・ポスター・チラシを設置
 イ 南知多などの温泉宿泊プラン「でんしゃ旅」
 ウ 特別料金設定・・・特に集客を見込める施設に特別割引券を配布
 エ 美浜町観光協会との連携による誘致活動
 オ 名古屋鉄道の株主優待に設定
 カ 最終展示期間 「ありがとう杉本美術館 記念入場券」販売
- (11) 広報活動
 ア 杉本美術館だより 136～138
 イ ポスター
 ・犬山城雪景色(白帝城) (9～4月) B1判、B3判
 ・文楽人形おさと 他5点 (4～9月) B1判、B3判
 ・杉本美術館外観・杉本画伯写真 (9～10月) B1判、B3判
 ※名古屋鉄道各駅、電車の車内釣りでの掲示のほか、
 奈良の寺院、観光施設、知多半島の学校、各美術館など約300箇所
 と地元の約100施設に掲示を依頼した

ウ リーフレット 展示案内 (A4判)

- ・犬山城雪景色(白帝城) (9～4月)
- ・文楽人形おさと 他5点 (4～9月)
- ・杉本美術館外観・杉本画伯写真 (9～10月)

※名古屋鉄道各駅及び県内の博物館美術館、知多半島内の学校、観光施設各美術館など約200箇所と地元の約100施設に常備を依頼したほか、地元の観光キャンペーンなどで配布を行った

エ メディアへの資料提供

- ・各新聞社、雑誌、放送局に紹介資料を提供した
- ・春、秋の展示替えごとに、その資料を愛知県美術館の記者クラブ在籍の約30社、半田記者クラブ6社、過去に特集を組んだ在京のNHK関係、出版社など約90社に提供した

オ 当館休憩室ビデオコーナー

中京テレビ放送から寄贈された「杉本健吉の世界画業80年その作品と生涯」を上映した。

カ ホームページ

展示替えごとに、展示案内に関する部分を更新し、販売品の案内も掲示

4 施設の改良、保全など

代表警報移報等工事 (1月)

5 設備保全など

- ・ハロン消火設備消火、警報装置の点検 (9月・3月)
- ・昇降機法定定期点検 (3ヶ月毎)
- ・変圧装置ほか電気設備の法定定期点検 (2ヶ月毎)
- ・電気設備、消火設備機器自主点検 (毎月)
- ・空調機器定期点検 (年2回)
- ・空調ダクトの洗浄 (年1回)
- ・空調機フィルターの清掃 (2ヶ月毎)

6 周辺の環境整備など

- ・前庭を中心に伸びすぎた樹木の剪定、間伐、下草刈など (6月ほか)
- ・美術館近隣地の道標看板の、目視を妨げる樹木の剪定、下草刈など (7月ほか)
- ・街路樹の剪定、街路の草刈など (5月)

7 令和3年度 杉本美術館入館者数

令和3年 4月 1日から
令和3年10月31日まで

月	令和3年度 人	令和2年度 人	対前年度比 %
4月	322	81	397.5
5月	695	128	543.0
6月	718	366	196.2
7月	571	352	162.2
8月	979	481	203.5
9月	3,469	466	744.4
10月	10,293	415	2,480.2
11月		509	
12月		313	
1月		341	
2月		390	
3月		334	
合計	17,047	4,176	408.2

*令和2年4月11日～5月15日まで、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため
臨時休館